

野生動物画家 岡田宗徳 Munenori okada 2018年 Wildlife Art 展 メッセージ

～動物を守り・生息地（自然）を守り・生態系を守る～

昔からその地で生きてきた動物たちが「生き難い」環境は
私たち人間にはどんな環境なのでしょう？ 動物たちがすむ森に耳を傾けてみませんか？

リュウキュウアオバズク 雛 3部作「在（あり）・安（あん）・立（りつ）」に込める想い」



© M. Okada 2018

在（あり）

何気なく通り過ぎてしまう森のなかにも
私たちが気づくことが出来ていない
新しい命が確かに存「在」（誕生）しています。



© M. Okada 2018

安（あん）

新しい命が健やかに育つには
安心して眠ることのできる（成長することのできる）
森（環境・生息地）が必要です。



© M. Okada 2018

立（りつ）

たとえ「雛」（子供）であっても
自らの命に危険が迫った時には
自らの足で「立」ちあがり声をあげることでしょう。

この度はお忙しいなか、ご来場いただき誠にありがとうございます。
ひとりでも多くの方が、自然のこと・森にすむ動物たちのことを考える切掛けに
この個展がなれていたらこんなに嬉しいことはありません。
次の世代の子供たちに、しっかりとバトンを繋げるよう
これからも動物たちとその生息地環境を守るお手伝いをしていきたいと思えます。
「在・安・立」是非、皆さんの言葉で繋いでいただけたら嬉しいです。

Society of Animal Artists Signature Member 岡田宗徳